

泉北教組

教職員の増員 30人学級の実現 賃金・手当減反対

を要望

職場要求アンケート結果より

教職員の要望項目

ベスト8

1. 教職員の増員 82%
2. 30人学級の実現 81%
3. 賃金・手当削減反対 80%
4. 備品・消耗品の確保・充実 79%
5. 免許更新制度廃止 62%
6. 「評価・育成」システム廃止 59%
7. トイレの改修や洋式化 49%
8. 危険箇所の補修 48%
- 事務や書類の簡素化 48%

F E D C B A
21 20 19 18 17 定時
時 時 時 時 時
以降 以降 以降 以降 以降

7 15 20 35 19 4
% % % % %

労働条件について
この1週間何時頃
学校をでることが
できましたか

【分析】

定時に学校を出た人は4%。96%の人は全て超過勤務をしています。文科省は「労働基準法は学校現場でも適用される。」としていますが、各職場において超勤をさせない責任は管理職にあります。「勤務時間把握」は不備な点もあり提出は少ない

泉北教組は、一学期に行った職場要求アンケートの集約をもとに、各市町の教育委員会に対し教育要求書を提出しました。
十一月末頃までに「重点要求」や各職場から出された施設などの要求で教育委員会と交渉を行います。
今回は職場要求アンケートの集約結果より特徴的な事をお知らせします。

と聞きますが、しっかりと出勤を証明する事実を出して、管理職に改善を求めていきましょう。

この一週間自宅への持ち帰り仕事はありましたか？

A ほとんど
B 週3回程度
C ほとんど
毎日あった

【分析】

小学校の持ち帰り仕事も中学校の土日の部活も「時間外勤務」です。しかし時間把握からは不当にも除外されています。この時間を入れると、文科省調査において、私たちの働き方は「過労死ライン」に既に達しています。

45分間「休憩時間」を取れましたか？

A とれている 2%
B 時々取れている 5%
C ほとんどとれていない 87%
D とれることを知らなかった 6%

【分析】

給食(昼食)指導は教育活動の一部ですから「勤

泉北教組・重点項目(抜粋)

府教委がすすめる「教職員の評価・育成システム」の撤回を市教委として求めること。市教委として「授業アンケート」を実施しないこと。

小中学校の35人以下学級(少人数学級)が早期に実施されるよう、府や国にはたらしかけること

「大阪府教育行政基本条例」「大阪府立学校条例」「職員基本条例」に市教委として反対の表明をすること。

教員免許更新制度の中止を申し入れること。抽選漏れ等による失職者をださないよう努力すること。教員の金銭的負担をなくすこと。

東日本大震災、津波などを教訓化し、小中学校の防災教育の見直し、各地区ごと、各校ごとの体制を早急に整備すること。【高石】

中学校給食の実施にあたっては、各学校から要望をきき、泉北教職員組合と状況に応じて協議すること。【高石】

小・中学校の普通教室及び未設置の特別教室に、空調設備をつけること。【和泉・忠岡】

まだ実施できていない耐震工事を急ぐこと。あわせて、学校から要望のある施設・設備の改修に向けた予算措置を行うこと。特に、放送施設の改修を急ぐこと。【和泉】

耐震工事計画を前倒しし、工事完了にむけて努力すること【忠岡】

務「時間です。「休憩」がない業種は異常ですし、明らかに労基法違反です。

休憩時間の確保をきちんと要求していきましょう。

泉北教組に加入して、「評価・育成システム」をなくそう